２　歳　　出

⑴　歳出の状況

当年度の歳出決算額は 68,456,571千円で、予算現額73,871,373千円に対して

執行率は92.7％(前年度92.4％)となっている。

支出済額は前年度に比べ15,474,770千円(△18.4％)減少している。

これは主に、土木費で8,774,290千円(△48.2％)、教育費で3,068,356千円(△26.7％)、

　　　商工費で1,190,097千円(△20.2％)減少したことによるものである。

公債

一般会計歳出款別構成状況　　　　　　　（単位：％）

平成27年度歳出決算額　68,456,571千円

※　(　)内は、26年度数値

一　般　会　計　歳　出



当年度の各款の支出済額にかかる対前年度増減についての主な要因は、次のとおりで

ある。

　民生費の減少の主な要因は、新たに私立認定こども園施設型給付費、公立保育所施設型給付費が増加したほか、介護・訓練等給付費等が増加したものの、二上守山統合保育園建設事業費、地域介護・福祉空間整備等補助金、はおか保育園改築事業費、臨時福祉給付金給付事業費等がそれぞれ減少したことによるものである。

　土木費の減少の主な要因は、福岡駅前土地区画整理事業費が増加したものの、北陸新幹線対策事業費、街路整備事業費、交通ネットワーク整備事業等が減少したことによるものである。

　教育費の減少の主な要因は、志貴野中学校校舎改築事業費が増加したものの、学校施設耐震化事業費、高岡西部総合公園整備事業費等が減少したことによるものである。

款　別　決　算　状　況

（単位：千円・％）



総務費の減少の主な要因は、藤子・Ｆ・不二雄ふるさとギャラリー(仮称)開設事業費、国勢調査費が増加したものの、伏木地区コミュニティ施設整備費、合併地域振興基金積立金、福岡駅前地域交流センター整備事業費等が減少したことによるものである。

商工費の減少の主な要因は、プレミアム付き商品券発行支援事業費、企業立地助成金等が増加したものの、御車山会館建設事業費、新幹線開業対策誘客促進ＰＲ事業費等が減少したことによるものである。

衛生費の減少の主な要因は、ごみ収集事業費、市民病院事業会計繰出金等が増加したものの、環境クリーン工場施設管理費、ごみ減量化・資源化促進事業費等が減少したことによるものである。

　農林水産業費の増加の主な要因は、農地・水保全管理支払交付金事業費等が減少したものの、農地利用集積事業費や多面的機能支払支援事業費が増加したことによるものである。

一　般　会　計　歳　出　款　別



・　節　別　一　覧　表

（単位：千円・％）



⑵　繰出金の状況

特別会計への繰出金は、国民健康保険事業会計等の５事業会計に対して

4,430,683千円を繰り出しており、前年度に比べ338,239千円(8.3％)増加している。

　　　 これは主に、工業団地造成事業会計で603千円(△2.2％)減少したものの、国民健康保険事業会計で134,317千円(11.6％)、駐車場事業会計で108,381千円(56.0％)と

それぞれ増加したことによるものである。

一般会計から特別会計への繰出金

（単位：千円・％）

